

作品テーマ 「学校の先生」

完成までの流れ

企画・構成

シナリオ(絵コンテ)

撮影

編集

完成

●企画・構成

企画意図、作品のメッセージ、かかる時間、主要な登場人物を決める
大まかなあらすじをブロックに分けて、“起・承・転・結”をふまえて構成を考える。

(ドラマ、ドキュメンタリー、CM風などどんな表現でもOK)

ノートなどに気がついたこと、
思っていることを書いてみる。
アイデア、ストーリー、セリフなども書いていく。

いいアイデアが固まったら肉づけしていく。
いくつも書いていく。最後に物語を創る。

学校の先生	クライ
好き	ダジャレが多すぎ
やさしい	話しがわかりにくい
面白い	給食を残して怒られた
遊んでくれる	隣のクラスなら良かった

物語の基本 起・承・転・結って何？

起

……物語の導入部（つかみも大事なので、ひきつける工夫も）

- ① 張り手型（インパクトのあるシーンから物語を始める方法）
⇒その後、すべてを回収し、説明しなければならない。
- ② なぜ型（物語がすすむにつれて、だんだん興味をもたせて、作品に引き込む）
⇒人の心の成長や変化をじっくり表現できる。

キャッ



何て素敵なんだ



主人公が誰で、どこで、何を、どうしたかを考えながら物語を作る

承

……話を広げたり、または掘り下げる部分（エピソードを積み重ねる）

「起」から「転」へのつなぎなので、ワクワクさせたり驚かせたりしながらクライマックスへとみちびいていこう。

目的をはっきりさせて、試練をあたえていく

転

……物語が最高に盛り上がる部分（最大の見せ場そして意外性）

すべてをセリフで言わずに小道具や映像で変化を

結

……作品のオチ、締めくくり（テーマを定着、余韻を残す）

「転」でテーマをしっかり強調すればするほど落としやすい

簡潔にすっきりと落とすこと

自由な発想で！
ルールなんてないよ！

